

金沢学院大学大学院

二〇二四(令和六)年度

入学者選抜試験問題(日期)

二〇二四年二月十七日(土)実施

人文学研究科人文学専攻 修士課程(歴史文化コース)

## 小論文

### 注意事項

- 1 問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 解答は、解答用紙に書きなさい。
- 3 問題冊子・解答用紙に受験番号・氏名を記入しなさい。
- 4 試験終了後、問題冊子・解答用紙・下書き用紙を回収します。

受験番号	
氏名	

問 次のⅠ・Ⅱに解答せよ。

Ⅰ 次の史料文の傍線部分を①読み下し、②その現代語訳を示せ。

著作権の二次利用権許諾を得ていないため、表示しておりません。

目 次の古文書の①文書名および②釈文(返り点・読点を付す)を記すとともに、  
③この古文書の解説文を作成せよ。

著作権の二次利用権許諾を得ていないため、表示しておりません。

年度	2023年度実施
研究科	人文学研究科
課程	修士課程
専攻・コース等	人文学専攻歴史文化コース
試験科目	小論文
実施日(試験日)	2024年2月17日

#### 解答又は解答例及び出題意図

当該試験(日本史分野)は、Ⅰ. 史料問題、Ⅱ. 古文書問題の二部構成となっている。個別の解答例の提示はなじまないため、Ⅰ・Ⅱのそれぞれについて、出題意図と採点時の観点を中心に述べる。

##### 【Ⅰ. 史料問題】

本学修士課程において日本史学の研究を進める際に必要な史料読解能力を十分に有しているかどうかを確認するため、提示した史料文の「①読み下し」と「②現代語訳」の作成を課している。今回の出題史料は幕末金沢の町人の日記から採り、当該期の町人の暮らしや文化への理解の確認を図った。

このうち、「①読み下し」については、史料読解に必要な漢文の訓読能力が問われることとなるが、動詞や助動詞、補助動詞、名詞、副詞、接続詞、助詞などの文法をきちんと踏まえられているかを重視する。

また、「②現代語訳」については、「①読み下し」がある程度できていないと作成できないものであるため、発展問題という位置付けであるが、人名・地名などをその他と正しく区別し、読み手に分かりやすいような現代語訳を作成できているかを特に重視している。

##### 【Ⅱ. 古文書問題】

本学修士課程において日本史学の研究を進める際に必要な古文書読解能力及び古文書学の知識を十分に有しているかどうかを確認するため、古文書の「①文書名」を作成させるとともに、「②釈文(返り点・読点を付す)」や「③解説文」の作成を課している。今回の古文書は北陸の寺社に関する江戸初期の文書を採り、古文書学的素養や地域史に関する理解の確認を図った。

このうち、「①文書名」については、古文書の全体像を的確に把握し、古文書学的にその古文書に適した文書名が作成できるかを重視している。

また、「②釈文(返り点・読点を付す)」については、古文書の崩し字が正確に解読できるかどうかや、それを実際に読み下すことができるかを確認している。古文書を読解するために、崩し字や文法の観点などを総合して解答を作成する能力がどれ程あるかが問われる問いとなっている。

さらに「③解説文」については、「②釈文(返り点・読点を付す)」がある程度できていないと作成できないものであるため、発展問題という位置付けである。読み解いた釈文を正確に現代語訳できるだけでなく、そこに含まれている人名や地名、古文書用語や歴史用語を理解する基本的な知識があり、かつそれを適切に説明できるかどうかを特に重視している。